



ワークエモーションのハイエンドモデルが3ピース仕様のCRだ。迫力系オーバーフェンダー車輻に、ドンピシャのデザイン。
機能美が魅力のT5R 2P。元々はスポーツモデルだったが、2P化し、ストリートで映えるホイールへと生まれ変わった。
ワークエモーションはレーシーなイメージが強いが、実はセダンオーナーたちの装着率も高い。細身の10本モデル。

正統派3ピースメッシュの決定版

VS XV
言わずと知れたメッシュの名作。そして現在、期間限定発売の特別色・ラスタープロンズゴールドが大きな話題に。詳しくはWEBにて。



GNOSIS CVS マットグレーブラッシュド



GNOSIS CVS ディープコンケーブ



GNOSIS CVS ミドルコンケーブ

一番人気はグノーシス シリーズ!

グノーシスは全6シリーズを展開中。その中でもVIPオーナーたちから注目を集めているのが「CVSシリーズ」。今流行りのコンケーブデザインに特化したモデルが揃っている。ご覧の「CVS」は深さが異なるディープコンケーブとミドルコンケーブの2種類のディスクを用意。さらに、カスタムオーダープランに対応しており、左写真のマットグレーブラッシュドなど、個性的なカラーを選ぶこともできるのだ。

「サイズは21インチで、フロントが10J+2、リアが10.5J+9。この大きさは通常のやり方では絶対に履けないんです。VS XVの深リムを優先し、キャリパーを削って装着してくれました。このカッコイイ履きこなしは、そんなオーナーさんの熱意があつてこそなんです。」
今回はセダン限定イベントということで、専用ラックには2ピースと3ピースを中心に展示。改めて、その種類の豊富さにも驚かされた。
「今後もVIPの皆さんに喜んで貰えるようなホイールを提案していきます。よろしくお祈りします!」

ワーク強し。今回のVIPスタイルミーティングでも、ワークの装着率は凄かった。
「会場に並んでいる全ての車輛をチェックしました。結果は195台中67台がワークのホイールを装着。全体の3割越え。これは非常に嬉しい結果でした」とワークの山口さん。
意外だったのが、オーナーたちが装着していたモデル。1番は予想していたシリーズとは違ったそう。
「ワークを装着していた67台を調べると、一番多かったのがグノーシス。そして、次がマイスター。僕らのイメージではVIP系ではマイスターの方が人気だと思っていましたが、これには少し驚きましたね。」
ちなみに、今月号の表紙を飾った210クラウンもグノーシスを愛用。グノーシスはデザインがカッコ



ワーク | 山口 永喜
「今日のイベントで、VIPの良さを改めて実感しました!」

イイのはもちろん、深リムで、かつミリ単位でインセットが選べ、そして、自慢のブレーキをアピールしやすいモデルが多い。きつと、そういった部分も、足まわりに力を入れているVIPオーナーたちに選ばれた要因なんだろう。
ワークのブースの前に飾られたデモカーはベンツSクラス（ゼッケン番号148）。高級輸入車には珍しく、王道のVIPな雰囲気魅力のVS XVを装着していた。

とどまることを知らないワーク人気 WORK



高級輸入車Sクラスに VS XVの難関サイズをぶち込む



こちらは5本スポークのジスタンス。右写真のメッシュ同様、全周ピアス仕様なのも見所だ。
VIPオーナーたちの定番モデルがジスタンス。奇を衒わぬシンプルでメッシュスタイル。



2つの★をオフセットさせたような大胆なデザインのシュヴァートSG1。プラボリが映える。
オシャレなプラボリを楽しみながら、ダブルフェイスデザインのシュヴァートSG2が狙い目。



6本スポークのBST1。右写真は5本のBST2。どちらも深リム×シンプルスポークの傑作だ。
ディープコンケーブを世に広めたのがゼーフト。その進化版がベックレーベルシリーズ。



VIPのためのホイールがイミッツ。この重厚感を受け止められるのは、セダンだけだろう。

ワーク | tel.06-6746-2859 (西日本) tel.048-688-7555 (東日本)
<http://www.work-wheels.co.jp>